

令和 6 年度 日本大学 学生 FD CHAmmiT

第 5 回 スタッフミーティング報告書

日本大学 学生 FD CHAmmiT スタッフ一同



自主創造
日本大学

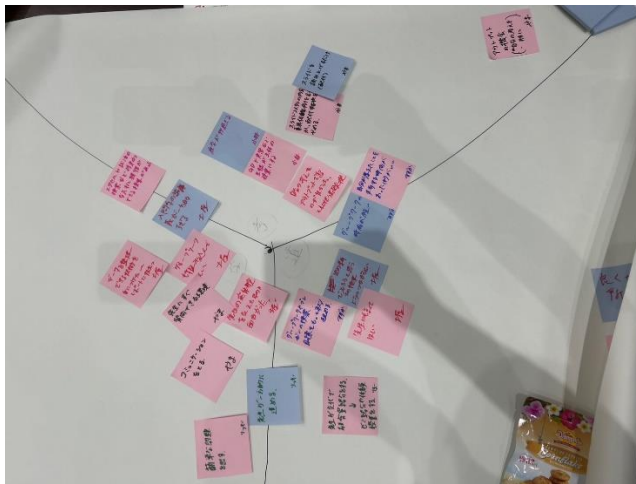
8月28日に日本大学本部で学生FD CHAmmit 第5回スタッフミーティングが行われました。今回のミーティングでは当日行われるセッション 1~3 を通して行い本番における問題点などを発見することを目的に活動しセッション、ファシリテーションマニュアルにおける意見の出し合い・議論を行いました。その後全学FDワークショップの見学を行いました。

○ セッション1 テーマ：「他の人にオススメしたい授業」

このセッションでは他学部の学生と自分が面白い、楽しいと思った授業についての意見を出すだけでなく、日本大学の教育理念である「自主創造」を支える3つの構成要素「自ら学ぶ」、「自ら考える」、「自ら道をひらく」のどれに当てはまるのかを考えながら話し合いを行いました。意見共有では各々が意見を模造紙に貼ってもらった後授業名・授業内容・感想について発表を行いました。

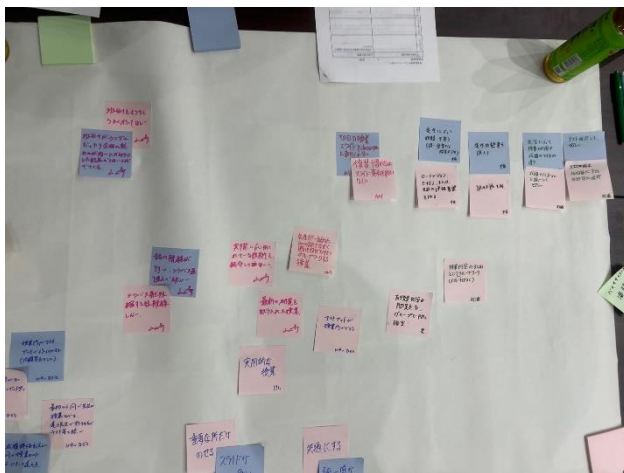
○ セッション2 テーマ：「自分が受けた授業で見つけた改善すべき点」

このセッションでは同学部同士で自身が受けた授業で見つけた改善すべき点について共有しました。またこのセッションでもセッション1と同様に改善すべき点とどのように改善するかを「自主創造」を支える3つの構成要素とあわせて考えました。注意すべき点として改善してほしい点についての議論が愚痴大会のようにならないように注意しながら行いました。



○ セッション 3 テーマ：「私たちが自主創造するためには」

このセッションではセッション 1 とセッション 2 を通して話し合った内容をもとに学部ごとグループに分かれ、学部提案書に記載する意見をまとめました。それを行うためにセッション 1 で出た意見についてグループ内で共有しました。



○ セッション、ファシリテーションマニュアルにおける意見の出し合い・議論

この過程ではセッション 1～3 を通してセッション、ファシリテーションマニュアルについての改善点、改善案などを各グループで話し合った後、全体で意見共有を行いました。中には複数のグループから同様の意見が出たものもありました。セッション 3 で使用する付箋の

色を他の色に変更して色が被らないようにする、自主創造や学部提案書の具体的な例や基準を明確にしてほしい、セッション 1 の最後に行う模造紙の写真を撮影して控えを残すという記述をもっと強調すべきである、セッション 2 において自主創造を支える 3 つの構成要素に分類しないほうが話し合いがスムーズに進むのではないかなどほかにも様々な意見が出ました。

○ 全学 FD ワークショップ見学

全学 FD ワークショップでは様々な学部から集まった教員方がグループに分かれて話し合い、作成された教育改善につながる授業の発表を見学させていただきました。FD における教員方の視点と学生の視点の違いを知り、新たな視点が広がったと思います。

セッション、ファシリテーションマニュアルの改善、全学 FD ワークショップの見学を通して本番の学生 FD CHAmmiT がよりよいものなるように残り少ないファシリテーター研修により一層熱心に取り組んでいきたいと思っています。

○ 集合写真

